

事務事業 No./名称	■サービス部門 教育-33 図書館管理運営事業									
主管課	中央図書館	関連課								
分野名	生涯学習									
目標 (目標値)	健やかで心豊かに暮らせるまち 豊かな生涯学習社会の創造を目指します 貸出冊数及び資料相談体制の充実									
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	人口	177,204人	177,161人	176,669人						
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯						
運営資源状況	事業の対象者数	97,997人	93,140人	88,094人						
	決算値(千円)	144,883	143,929	144,480						
	(国・県)	6,322		#REF!						
	(負担金等)	2,009	1,218	1,312						
	(一般財源)	136,552	142,711	143,168						
	人員配置数	23.0	23.0	23.0						
	人件費(千円)	198,289	200,934	208,633						
事務事業運営経費	協働のパートナー		図書館とともだち・鎌倉	図書館とともだち・鎌倉						
	総事業費(千円)	343,172	344,863	353,113						
	市民1人当りの経費(円)	1,937	1,946	1,999						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	藤沢市	平塚市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市	大和市	小田原市	秦野市
	月1日の休館	○	月2日 (※合館のみ)	×	×	月3日	×	×	○	×
	宅配サービス	○	×	×	×	○	○	×	×	×
	住民一人当り貸出冊	8.82	8.53	5.55	4.17	10.48	3.91	4.54	2.58	3.62
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)			
貸出冊数	◎	目標値	1,365,000冊	1,365,000冊	1,421,000冊	1,421,000冊	1,421,000冊			
		実績値	1,526,743冊	1,565,655冊	1,562,987冊					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
図書館運営事務	49,953千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E		
		事業の概要	市内5か所の図書館で、図書の閲覧、貸出、レファレンスを行うほか、図書館のサービスエリアから離れた地域住民、活字資料の利用が困難な方も等しく必要な情報を得られるようICT技術の活用、ボランティア団体の協力を得て運営している。			
資料収集・貸出事業	75,950千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E		
		事業の概要	市内5館全体の蔵書バランスを考慮し、効果的な資料収集に努めている。歴史的資料、書店で購入できない地域資料、行政資料の収集にも重点を置いている。			
図書館管理事業	18,980千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	⇒ ■A □B □C □D □E		
		事業の概要	図書館としての日常的な業務を遂行するための施設管理と、施設の老朽化に対して、計画的な修繕を行い図書館機能を維持すること。			
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		事業の概要				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	業務量の増加への対応、開館百周年事業への取組み。
課題解決のための取組	市民協働による図書館振興事業への取組み。
未解決の課題	予約・貸出・レファレンス・他機関との協力事業等、年々増加する業務量への対応。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		↓	A	課長等名
		③有効性 ○				図書館長
		④公平性 ○				古谷 修

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	タイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
図書館運営事務	183・933 933	図書館業務嘱託員等 報酬	44,308	44,306	<input type="checkbox"/> 適切	■見直し余地あり
		ブックスタート事業の推進	1,485	1,477	■適切	□見直し余地あり
資料収集・貸出 事業	184 184 184 185	一般図書等資料購入事業	34,675	34,675	<input type="checkbox"/> 適切	■見直し余地あり
		巡回業務等委託料	4,631	4,173	<input type="checkbox"/> 適切	■見直し余地あり
		図書館情報システムコンピュータ機器賃借料	23,105	23,105	■適切	□見直し余地あり
		図書館開館100周年記念行事の実施	11,266	7,981	■適切	□見直し余地あり
図書館管理事業	186 186	施設維持補修事業	2,298	2,289	■適切	□見直し余地あり
		施設維持管理事業	8,846	8,730	■適切	□見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切	□見直し余地あり
					<input type="checkbox"/> 適切	□見直し余地あり